

R6年度予算編成の考え方

1. 新庁舎を拠点とした新たなまちづくりのスタート

～新庁舎を拠点として、持続可能な田辺市の創造に取り組む～

2. 節目（周年期）を活かしたまちづくり

～周年事業を展開し、本市の魅力を広く発信するとともに、世界遺産の意味や価値を見つめ直し、考える機会とする～

3. 重要課題への対応

～本市を取り巻く重要課題に対応しつつ、効率的・効果的な行財政運営を推進する～

4. 第2次総合計画に基づく施策の推進

～第2次総合計画（後期基本計画）に基づき、各種施策を着実に推進する～

1. 新庁舎を拠点とした  
新たなまちづくりのスタート

- 新庁舎を拠点として豊かな暮らしを実現
- 新庁舎を拠点として協働のまちづくりを推進
- 有事の際の司令塔として市民生活を守る

2. 節目（周年期）を  
活かしたまちづくり

- R5年度
  - 紀州梅酒による乾杯及び梅干しの普及に関する条例制定10周年
- R6年度
  - 世界遺産登録20周年
  - サンティアゴ・デ・コンポステーラ市との観光交流協定締結10周年
- R7年度
  - 新田辺市発足20周年
  - 世界農業遺産認定10周年
  - 大阪・関西万博の開催

3. 重要課題への対応

- 田辺ONE未来デザインの推進
  - 子ども・子育て環境の充実
  - 地域のデジタル化・脱炭素化の推進
  - 防災・減災対策の強化
  - 公共施設の老朽化対策の実施
- 上記に対応しつつ、効率的・効果的な行財政運営を推進

4. 第2次総合計画  
に基づく施策の推進

□政策体系

- 〈人〉
- 〈安全〉
- 〈安心〉
- 〈活力〉
- 〈希望〉
- 〈快適〉
- 〈計画推進〉